

ホーム名：グループホームはくとう					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念を基本とし、グループホーム理念を掲げその理念を職員全体で共有し、介護サービス向上に努めている。	事業所の理念には地域密着型サービスであることが盛り込まれている。理念の下に具体的にどのように実践するか書かれていてわかりやすい。朝夕の申し送りを行う事務所に理念が掲示され、職員が日常的に目にすることで理念を共有し、また理念に関する研修も行われている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣への買い物や散歩、地域の行事に参加させていただいたり、地域のボランティアの方に来訪いただくことで地域の交流を増やしていくように努めている。	町会には参加しているが近隣との交流はまだあまりない。また社協の登録ボランティアの方に2、3ヶ月に一度歌、ハンドベル、踊り等で来訪してもらっている。今年度は1ヶ月に一度誕生会時に参加してもらおう計画である。	まず町会長に連絡して回覧板等がどうなっているのか確認して、町会の回覧板や掃除等の活動を通じて近隣の方々にも徐々に働きかけて交流を深めていただきたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域密着型サービス事業所連絡会が開催する地域住民の方への認知症の理解や支援の方法を広める活動をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所で撮影した写真を見ただきながら、事業報告することで、意見がしやすい雰囲気作りに努め、その後アドバイスを受けた意見はサービス向上に努めている。	運営推進会議には大正区長（地区長）、民生委員、市担当者、地域包括支援センター担当者、家族が参加している。写真やフォトムービーを使い活動の報告をわかりやすく行っている。行事予定、研修、事故報告の後に質疑応答も活発に行われている。	現在家族には順番に声をかけている状況であるが一巡して落ち着いたら全家族に参加を呼びかけ、また議事録を家族にも送付していただきたい（但し議事録中の内部の人間関係に関する記述や家族の個人名は省いてあくまで運営や介護に関する内容に留める）。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	地域運営推進会議の開催や、地域密着型サービス事業所連絡会へ参加し、事業所の実情やサービスの取組みを伝えている。	当該法人の関連施設との繋がりから市の福祉係と面識があり協力関係を維持している。市からは空き部屋状況や緊急時の受け入れの問い合わせなどがある。また2、3ヶ月に一度、市役所内で開催される地域密着型サービス事業所のための事業所連絡会に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	定期的に研修会を行うこと、また日々の業務の中でも「スピーチロック」を含め、身体拘束にならないケアに努めるよう取り組んでいる。	重要事項に身体拘束のないケアの実施を明記しており、かつ職員には内部研修を行うなどしてその徹底を図っている。玄関の施錠は利用者の安全確保を最優先したものであり外出を制限したものではない。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に研修会を行いながら、管理者や職員は高齢者虐待防止等について学ぶ機会を作り、虐待が見過ごされることがないように努めている。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、現在入居中の2名の方が活用されている。今後も必要に応じ、活用できるように支援する。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入退居時は、利用者も家族の方も不安を感じていることが多いため、ゆっくりと時間をかけて理解・納得いただけるように努めています。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の方は日常生活の会話の中で、ご家族の方は面会時や電話やメールでの近況報告の時に意見や要望を聞くように努めています。その意見や要望は職員会議で共有し支援に反映させるようにしている。</p>	<p>運営推進会議、来訪時の家族からの意見は朝夕の申し送り、職員会議、職員宛の回覧で周知している。運営推進会議の議事録で話しかけにくいとの家族の意見もあったが、意見を言いやすい関係にするよう努めている。</p>	<p>意見箱を設置して利用者や家族が意見を伝える機会をより一層拡げてもらいたい。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>朝、夕の申し送り時間や、月1回の職員会議で、職員の意見や提案を管理者が聞き、反映できるように取り組んでいる。</p>	<p>職員は日常の会話の中から支援活動で得られた反省点や改善点を話したり連絡ノートに記述したりする。管理者はそれを周知し支援活動に反映するように図っている。</p>	<p>職員の日常的な介護に関する気づき等は連絡ノートに記入して職員間での情報の共有を徹底してもらいたい。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は、職員一人一人の努力や実績を勤務状況を把握し、給料水準、労働時間、やりがいなど、職員が向上心を持って働けるよう環境整備、条件の整備に努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、法人内外の研修を受ける機会を作り、働きながら力量が向上できるように努めている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス事業所連絡会に参加し、同業者とネットワーク作りにより、意見交換することでサービスの質の向上に努めている。</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所時には、本人の要望をしっかりと傾聴させていただき、安心して生活を送れる環境作りを行い、信頼関係を築いていくように努めています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所時には、家族の要望をしっかりと傾聴させていただき、安心して生活を送れる環境作りを行い、信頼関係を築いていくように努めています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者の意向を最優先してサービスを提供しているが、一人ひとりその時々合った支援の提供をするように努めている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者の方同士も、相談し合ったり、助け合ったりすることが、安全に普通にできるような環境を作っていくように努めています。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入居されてからも、面会や家族との外出、外泊等、家族の方と過ごされる時間を大切に、共に本人を支えていく関係を継続できるようにしている。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの場所へ散歩や、買い物等の外出支援を行ったり、面会や外泊（自宅）への支援も積極的にやっている。</p>	<p>一人ひとりの馴染みの人や場所は聞き取りし把握している。入居して間もない頃は事業所に馴染んでもらう事も大切だと考えられているものの、家族の協力と理解のもとで法事などの外出や利用者の個人的繋がりとの交流も実現できるよう取り計らっている。</p>	
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>みんなで一緒に行えるアクティビティを提供したり、職員が橋渡しをしながら良い関係性を築けるように努めている。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用が終了後も、電話等で近況報告をいただいたり、相談に来所いただいています。これからも、相談しやすい関係作りに努めていきます。</p>		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の思いや意向は日常のケアの中で、言葉や表情から読み取り、把握できるように努め、思いや意向を大切にされた支援を心がけています。</p>	<p>コミュニケーションが大事と考え、利用者に対してよく話しかけを行なっている。また表情を見て思いをくみ取るよう努めている。自室にすることが多い利用者に対しても定期的に声掛けを行っている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>入所される前の暮らしは、本人や家族からの聞き取り、前ケアマネージャー等在宅サービスで関わった職員の方からの情報提供をいただき、把握に努めています。</p>	/	/
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々の関わりの中で、心身の状態や残存能力の把握に努めています。</p>	/	/
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人の思いの把握や家族の意向の聞き取り、職員会議にて個別処遇の検討会で出た意見やアイデアを反映させ、介護計画を作成するように努めている。</p>	<p>入所時のアセスメントにおいて詳細な聞き取りがされている。長期計画は6ヶ月毎、短期計画は3ヶ月毎に見直されている。認知症介護歴17年と22年の経験を持つ職員が介護計画の作成にあっている。また介護現場にも入っているため、利用者本人の変化に応じた介護計画の見直しも柔軟に行なっている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のケース記録に日々記録し、職員間で情報を共有し、介護計画の見直しを行っている。</p>	/	/
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意向を聞きながら、出来る限りの情報提供と柔軟な対応を心がけている。</p>	/	/
29		<p>○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源の情報収集をし、多様な活用が行える様に努力し、支援している。</p>	/	/
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医は本人及び家族が希望された先で受診をしていただき、必要に応じ、付き添い支援など、適切に医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>協力医は八尾市にある貴島病院であるが近隣のクリニックに診てもらうこともある。家族の要望があれば従来からのかかりつけ医の利用も継続できる。現在は3名の方がかかりつけ医で受診している。受診は家族の協力を求めているが事情で行けない時は職員が同行している。</p>	<p>利用者に家族のみ同行してかかりつけ医で受診した場合、受診結果の情報を必要に応じて連絡ノート等に記入して職員間で共有していただいたい。</p>

31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	はくとう診療所看護師へ随時状況を報告し、適宜アドバイスを受けられる関係にあります。		
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院が必要になった場合は、入院に必要な準備や付き添いや送迎等、できる限りの対応はさせていただきます。入院後は面会や電話で、病院の看護師や相談員の方から状況を確認し早期退院できるよう努めています。		
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現時点では終末期の方の対応はありませんが、今後希望があった場合は、早い段階から支援を行っていくように努めていけるよう、地域で協力が得られる医療機関との連携を図っていきます。	現在までに重度化、終末期となられた利用者はいない。看取りのルールやマニュアル等はない。内部研修も行ったことがある。現在の協力医は24h対応ではないため、まず社協の訪問看護や24h対応の医療機関の紹介を利用することを考えている。	利用者や家族の意向を確認しないまま重度化を迎えることがないように、早急に訪問看護支援について社協に相談し医療協力体制を整えてもらいたい。
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時等の事故発生時の対応はマニュアル化し、各ユニットに準備している。研修も定期的に行うように努めている。		
35 13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常災害時対応マニュアルを作り、各ユニットに準備している。消防訓練や避難訓練を実施している。	年2回の予定で避難訓練を行っている。消防署の立ち会いもあり一応利用者も参加し、また夜間想定訓練も行なった。消火器、スプリンクラーは各フロアに設置されている。	避難訓練時に近隣の方の視察を求められどのような協力が可能かを話し合わせて頂きたい。

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36 14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇マナー、認知症ケアの勉強会を行っています。特に排泄や入浴ケア時には、羞恥心に配慮した声掛けを行うようにしています。	認知症ケア・接遇に関する内部・外部研修を行なって、職員全員が利用者の誇りやプライバシーを尊重するように取り組んでいる。本人だけに分かるようにさりげない介護や対応を心がけている。	
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で出来るだけ多くの、自己選択や決定を行えるように働きかけるように努めています。		
38	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	リビングでみんなで過ごしたい方、お部屋で過ごしたい方、外出を希望される方、それぞれの希望をできるだけ叶えられるように支援をしています。		

39	<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>近隣の美容院への外出支援や、化粧品の準備のお手伝い、衣服の購入等、身だしなみやおしゃれができるよう支援しています。</p>		
40	15 <p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の方と一緒に会話をしながら、食事の盛り付けや食器洗いや食器拭きの後かたづけをしていただいています。自然とそれぞれに役割ができています。</p>	<p>同法人が経営するケアハウスの厨房で調理された食事が毎食配達されてくる。バイキング食や選択食もあり飽きないよう献立が工夫されている。配膳、片付けを利用者も手伝いまた1ヶ月に一度の行事食のおやつは利用者も共に作っている。外食は年2回ぐらいである。</p>	
41	<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>毎日の食事や水分量を記録し、一日に必要な量が確保できているかを管理している。食欲がない等、摂取量が減少している場合は好まれる物を提供している。</p>		
42	<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>ご自分でできる方には声掛け、介助が必要な方にはその方の力に応じた口腔ケアをしている。異常や変化があれば、歯科医や歯科衛生士に相談している。</p>		
43	16 <p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>気持ち良く過ごしていただくためにも、可能な限り、トイレやポータブルトイレを使用して排泄できるように支援している。</p>	<p>自立排泄へ向けての考えから自分で出来る事は見守りするようにしている。ポータブルトイレなど排泄時の補助具の使用を通して実際に自立した利用者もいる。また歩行訓練、簡単な体操により自然排泄に向けて支援している。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>牛乳等の乳製品は毎日提供させていただいている。水分もこまめに提供し、適度に毎日運動していただくことで、予防に取り組んでいる。</p>		
45	17 <p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴の曜日や時間は予め決まってはいるが、その日の体調や外出、その時に利用者の方の気分に合わせ調整している。</p>	<p>各利用者1名ずつ週2回午後に入浴する。入浴を拒む利用者とは職員も一緒に入る等の対応をしてきたが利用者も慣れて落ち着いてきている。入浴時が利用者と職員が一番コミュニケーションを取りやすい時間となっている。</p>	

46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣に合わせ、就寝の支援をさせていただいています。一人一人が安心して休めるよう環境作りにも努めています。		
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報をファイルし、一覧表を作り管理している。飲み間違いがないよう、配薬時には日付名前を読み上げている。		
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事（掃除、洗濯、食事準備等）でそれぞれの得意なことで、役割を持っていただいたり、音楽鑑賞、工作、手芸等、希望に添えるように努めている。		
49 18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	日常的な近隣への散歩や買い物以外にも、遠足や外食支援を計画を立てて行っている。ご家族の方と一緒に出掛けられる方も多く、必要な支援があれば柔軟に対応している。	日常的な外出先としては10分程の所に大正公園があり良く出かけたりしている。初詣には黒田神社、遠足では奈良の馬見丘陵公園に出かけたりしている。中には家族と外出される方もいる。	
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の持ち込みは不可としているが、金銭を持つことで安心される場合は、家族の方と相談した上で、所持していただくようにし、使えるように支援している。		
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話は家族の方の都合等も確認した上で支援しています。手紙のやり取りの支援は日常的に行っています。		
52 19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適な空間で過ごしていただけるよう温度計、加湿器を設置してあります。共用のリビングには、マッサージチェアや本が置いてあり、自由に使っていただけるようになっていました。季節を感じていただけるよう、季節に合わせた飾りを玄関や、リビングにも飾っています。	事業所は新しいため清潔感がある。3階は採光がよく特に明るい。また季節感を失わないような飾りつけもされている。マッサージチェアや本も置かれていて利用されている。食事メニューが貼ってあり、利用者が楽しみにできる工夫もされている。	
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂は一人ひとりの席が決まっています。3人掛けのソファがあり、気の合った方が過ごされる場所もあります。		
54 20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具などは、自宅で使っていたものや、馴染みのある物をできるだけ持ち込んでいただくようお願いしています。入居されてからも家族に持って来ていただくこともあります。	家から使用していた物や家具をできるだけ持ってきてもらっている。退室時また在室中に中から施錠でき、施錠する利用者もいる。シーツ交換は週一回行われ清潔さも維持されている。	
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はすべてバリアフリーで、手すりが設置されています。福祉用具についても、その方に応じた物を使用いただけるようにし、安全に生活を送っていただけるように努めています。		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない